

平成 25 年度 第 186 回教育研究審議会議事要録

日 時 平成 25 年 6 月 25 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 05
場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 近藤学長、松尾副学長、梶原副学長、漆原副学長、井村事務局長、伊藤外国語学部長、柳井経済学部長、佐藤文学部長、山本法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、中尾基盤教育センター長、田村慶社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、小野学生部長、田村大教務部長、岡本都市政策研究所長、木原国際教育交流センター長、田島入試広報センター長、隈本情報総合センター長、日高地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長

- 配布資料**
- 1 欠員補充申請書 (外国語学部)
 - 2 公立大学法人北九州市立大学教育職員の任期に関する規程の一部改正について (参考) 公立大学法人北九州市立大学教育職員の任期に関する規程 (一部抜粋)
 - 3 タイ・タマサート大学との覚書及び学术交流協定締結について
 - 4 平成25年度特別研究推進費交付採択研究一覧
 - 5 新図書館建設推進状況について

第 1 号 教員の採用について

* 資料1 (pp. 1-2) のとおり、外国語学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職する木下善貞教授の後任として、翻訳教育、英米文学・文化担当教員1名の欠員補充について提案。

- 基盤教育科目については全学的に支えていくこととなっているが、外国語学部は他学部と比較しても、当初予定していた基盤教育科目の担当コマ数が達成されていない。採用の面接の際には、基盤教育科目の担当となることも確認してもらいたい。
- 申請書中、担当科目の「英語」は、基盤教育科目を含めて担当することを前提にしている。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)
(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1 (pp. 3-4) のとおり、外国語学部からの申請に基づき、平成26年3月31日付けで定年退職するデニス・ジョーンズ教授の後任として、アメリカ研究担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 (異議なし)
(議案承認の後、選考委員会を設置)

第 2 号 公立大学法人北九州市立大学教育職員の任期に関する規程の一部改正について

* 資料2のとおり、北九州市立大学教育職員の任期に関する規程の一部改正について提案。

- 改正労働契約法(平成24年8月10日公布)、及び第180回教育研究審議会(平成25年3月19日開催)での「改正労働契約法に係る検討委員会」の報告を踏まえて、規程の一部改正を行うものである。
- 平成25年4月1日以降に任期が始まる教員については、5年任期の満了後、次の任期が始まった場合は無期労働契約への転換の申込みが可能となることから、再任回数の制限を削除する。
また、国際環境工学部及び国際環境工学研究科の任期付教員については、本規程改正後の再任審査により再任された場合は、その後の再任審査を行わないこととする。
- 北方キャンパスの任期付教員については、原則として国際環境工学部と同様の取扱いをすることとしていたが、いくつか課題があることから、残された課題について、検討委員会を設置し、検討を行うこととしたい。
- 資料2ページの新旧対照表中、改正後の別表1と別表2の違いは何か。
- 別表1は、任期を定めて雇用する教育職員を定めるとともに、再任の可否について規定したものである。別表2は、別表1に定めたもののうち、雇用後最初の再任が可となった場合、以後の再任審査を行わない職を規定したものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 タイ・タマサート大学との覚書及び学術交流協定締結について

* 資料3のとおり、タイ・タマサート大学との覚書及び学術交流協定締結について提案。

- 海外大学との学術交流と研究交流の推進のため、タイのタマサート大学と大学間の覚書及び学術交流協定の締結を行う。
- 協定書の日本語訳等の作成が、一部の教員の負担とならないようなシステムづくりが必要である。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 特別研究推進費の採択状況について、資料4のとおり報告があった。
- ② 新図書館建設推進状況について、資料5のとおり報告があった。
- ③ 次回の審議会を7月9日（火）に開催する予定である旨、報告があった。